

## II. 登園に制限のある感染症

No.	病名	主な症状	潜伏期間	登園の目安
1	溶連菌感染症	<p>溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などが出る ・舌はイチゴのようにブツブツになる</p> <p><b>注意事項</b> 抗菌薬を10日間内服 ・途中で薬をやめてしまうと再発する ・薬をきちんと飲まないとしゅうマチ熱や急性糸球体腎炎をおこすことがあるので、<b>指示通りに最後まで飲む</b>ことが大切</p> <p>・感染期間は抗菌薬内服後24時間が経過するまで</p>	2日～ 5日	<p>抗菌薬内服後24～48時間経過していること</p> <p>ただし、治療の継続は必要</p>
2	マイコプラズマ肺炎	<p>マイコプラズマという病原体によっておこる肺炎</p> <p>・咳が強く、熱も出ることが多いが、ときに微熱程度のこともある ・咳は徐々に激しくなる ・しつこい咳が3～4週間続く場合もある</p> <p><b>注意事項</b> 気管支炎としてペニシリン系やセフェム系の抗菌薬をのんでいても熱が下がらなかつたり、咳がなかなか治まらない場合は、マイコプラズマ肺炎のことがある ・胸のレントゲン写真や血液検査などで診断がつく</p>	2週間～ 3週間 (1週間～ 4週間)	<p>発熱や激しい咳が治まっていること</p> <p>(症状が改善し全身状態が良い)</p>
3	手足口病	<p>手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる</p> <p>・おしりやひざにできることもある ・熱はたいてい出ないが、ときに高熱がでることがある ・手足の水ぶくれは痛がらないが、口の中が痛くて食べられなくなることがある</p> <p><b>注意事項</b> 口の中が痛いときは、しみないものを与え、熱いもの、塩味や酸味の強いもの、かたいものはひかえる</p> <p>感染期間：唾液へのウイルスの排泄は通常1週間未満 糞便への排泄は発症から数週間持続する</p>	3日～ 6日	<p>発熱がなく(解熱後1日以上経過し)、普段の食事ができること</p>
4	突発性発疹 <b>※当園許可証は不要です</b>	<p>突然高い高熱を出して3～4日続く ・生まれて初めての熱であることが多く、咳や鼻水はでないが、便がゆるくなることもある ・熱が下がると体中に発疹がでる</p> <p><b>注意事項</b> 感染力は弱い、発熱中は感染力がある</p>	約10日	<p>解熱後1日以上経過し、全身状態が良いこと</p>
5	ヘルパンギーナ	<p>夏かぜの一種で、38～40℃の熱が2～3日続く</p> <p>・のどの奥に小さな水ぶくれができて痛いので食べられなくなる ・ひどいときは水分も飲めなくなる</p> <p><b>注意事項</b> 熱性けいれんや脱水症の合併症がある／口の中が痛いときは、噛まずに飲み込めるものを与える</p> <p>・十分に水分を与える</p>	3日～ 6日	<p>発熱がなく(解熱後1日以上経過し)、普段の食事ができること</p>
6	伝染性紅斑 (りんご病)	<p>ほっぺがりんごのように赤くなる ・太ももや腕には赤い斑点やまだら模様がでてくる ・頬がほてったり少しかゆくなることもある ・熱はでない ・ただし大人がかかると、微熱が出たり腰や膝が痛むことがある</p> <p><b>注意事項</b> 発疹が治っても、直射日光にあたったり、入浴すると発疹が再発することがある</p> <p>感染期間：かぜ症状発現から顔に発疹が出現するまで</p>	4日～ 14日 (～21日)	<p>発疹が出現した頃にはすでに感染力は消失しているので、全身状態が良いこと</p>
7	嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)	<p>ロタウイルスやノロウイルス、アデノウイルスなどによる</p> <p>・突然吐き始め、続いて水のような下痢(レモン色～白色)になる ・熱がでることもある ・発熱や嘔吐は1～2日で治まり、下痢は1週間くらいでよくなる</p> <p><b>注意事項</b> ①吐き続ける ②元気がなく、顔色が悪い ③唇が乾いて、おしっこが少ない(脱水が強い)ときは、早めに診療を！</p> <p>・症状の有る時期が主なウイルスの排泄期間</p>	<p>ロタウイルスは1日～3日 ノロウイルスは12時間～48時間</p>	<p>嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事ができること</p>

No.	病名	主な症状	潜伏期間	登園の目安
8	RSウイルス感染症	<p>咳や鼻水、鼻づまりなど、かぜの症状で始まるが、しだいに咳がひどくなり、ゼイゼイと苦しそうな息になってくる。ゼイゼイが治まっても、痰がからんだ咳がしばらく続く</p> <p><b>注意事項</b> 重症になったときは入院して酸素吸入が必要になることもある。とくに6か月未満の赤ちゃん、未熟児や生まれつき心臓病がある子などは重症になりやすい</p> <p>感染期間： 通常3～8日間（乳児では3～4週）</p>	4日～6日 (2日～8日)	重篤な呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
9	ヒトメタニューモ感染症	<p>発熱、咳、鼻水のかぜの症状のような状態から、やがて細気管支炎や肺炎、喘息に似た発作や呼吸困難を引き起こす。症状がRSウイルス感染症と非常によく似ている</p> <p><b>注意事項</b> 重症になったときは点滴や酸素吸入が必要。1週間ほどで症状は良くなるが、ウイルスの排泄は1～2週間続く</p>	4日～6日	(重篤な呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと)
10	クループ症候群	<p>かぜをひいたときにのどの奥(声を出すところ)あたりが腫れて、オットセイの声のような咳(犬がほえるような咳)がでる。声がかすれたり、でなくなったりする。のどの腫れがもっと強くなると、息を吸うときに苦しがる</p> <p><b>注意事項</b> 病院から戻ったときは軽くなっているが、夜またひどくなることもある。息が苦しそうなときは、再診</p>	数日～1週間	咳の症状が消失し、全身状態が良いこと

### III 登園停止ではないが、医師の診断及び治療が必要な感染症

No.	病名	主な症状	潜伏期間	登園の目安
1	伝染性膿痂疹(とびひ)	<p>すり傷や虫さされ、あせも、湿疹などに化膿菌が入りこんで水ぶくれができる。これをかきこわした手でほかの場所をかくと、そこにまた水ぶくれが「とびひ」する</p> <p>・夏に多い ・かゆい</p> <p><b>注意事項</b> アトピー性皮膚炎がある場合には重症になることがある</p> <p>感染期間： 効果的治療開始後24時間まで</p>	2日～10日 長期の場合もある	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
2	伝染性軟属腫(水いぼ)	<p>丸くて光った、うつるイボ。つぶすと白いかたまりが出てくる。この中にウイルスがたくさん含まれていて、これがつくとうつる。水いぼじたいは痛くもかゆくもない</p> <p><b>注意事項</b> 水いぼをひっかいて化膿したときやまわりに湿疹ができてかゆいときは、再診</p>	2週間～7週間 に6ヶ月まで	掻きこわし傷から滲出液が出ているときは被覆すること
3	頭じらみ症	<p>しらみの卵は髪の毛にフケのようにくっついていて、動かない</p> <p>・しらみに吸血されるとかゆく、よく頭を掻く</p> <p><b>注意事項</b> 枕カバー、シーツ、帽子などは熱湯(55℃、10分で死滅)で洗う、又は熱処理(アイロン、クリーニング)</p> <p>・タオル、くしなどを共有しない</p>	10日～14日 成虫まで2週間	駆除を開始していること